

## 美容医療・歯科治療・近視矯正の判例と実務

— 医学的基礎知識から自由診療による被害への対応策 —

## 目次

<b>第1章</b>	はじめに	1
<b>I</b>	多発する「美容医療サービス」をめぐる被害	1
	1 消費生活センターへの相談件数の急増	1
	2 相談事例にみる美容医療サービス被害の実態	1
	3 被害急増の背景——インターネット・スマートフォンの普及と美容外科医療に対する意識の変化	5
<b>II</b>	「営利的（自由診療）医療被害」裁判の概要とその難しさ	6
	1 司法統計にみる裁判件数	6
	2 低減する認容率	6
	3 営利的（自由診療）医療被害裁判の難しさ	7
<b>III</b>	的確な支援が被害の掘り起こしにつながる	7
	1 「美容医療サービス」被害相談の開始とその限界	7
	2 被害者心理への配慮の必要性	8
	3 クリニック側の対応	9
	4 法律相談の実情	9
<b>IV</b>	本書の構成	9
<b>第2章</b>	美容外科被害と裁判	11
<b>I</b>	美容外科医療の特徴	11
	1 医療上の特徴	11
	2 学会の特徴	12

3	業界の特徴	13
<b>II</b>	<b>脂肪吸引術をめぐる美容外科被害</b>	19
1	脂肪吸引術の内容	19
2	脂肪吸引術の合併症	23
3	判例	26
<b>III</b>	<b>切開式除脂術（脂肪切除術）をめぐる美容外科被害</b>	43
1	切開式除脂術（脂肪切除術）の内容	43
2	切開式除脂術（脂肪切除術）の合併症と原因	44
3	和解	44
<b>IV</b>	<b>胸・乳房をめぐる美容外科被害</b>	46
1	インプラント豊胸術	46
2	注入法による豊胸術	55
3	乳房固定術・乳房縮小術	58
4	乳輪・乳頭（縮小）形成術	59
5	陥没乳頭挙上術	60
6	判例	60
<b>V</b>	<b>眼瞼をめぐる美容外科被害</b>	86
1	上眼瞼の美容外科手術の内容と判例	86
2	下眼瞼の美容外科手術の内容と判例	100
<b>VI</b>	<b>鼻をめぐる美容外科被害</b>	113
1	鼻の美容外科手術と合併症	113
2	判例	117
<b>VII</b>	<b>フェイス・リフト手術をめぐる美容外科被害</b>	122
1	切開によるフェイス・リフト手術と判例	122
2	スレッドによるフェイス・リフト手術	128
<b>VIII</b>	<b>顎、顔の輪郭をめぐる美容外科被害</b>	129
1	顎、顔の輪郭の美容外科手術の内容と合併症	129
2	判例	131

<b>IX</b>	<b>レーザー治療をめぐる美容外科被害</b>	145
1	レーザー治療の美容外科手術の内容と合併症	145
2	判例	148
<b>X</b>	<b>腋臭・多汗症をめぐる美容外科被害</b>	156
1	腋臭・多汗症の美容外科手術の内容と合併症	156
2	判例	157
<b>XI</b>	<b>フィラー（filler）をめぐる美容外科被害</b>	167
1	フィラーの美容外科手術の内容と合併症	167
2	判例	172
<b>XII</b>	<b>メソセラピー（脂肪溶解注射）をめぐる美容外科被害</b>	173
1	メソセラピーの内容	173
2	メソセラピーの安全性	173
3	判例	174
<b>XIII</b>	<b>ケミカルピーリングをめぐる美容外科被害</b>	176
1	ケミカルピーリングの内容と合併症	176
2	判例	177
<b>XIV</b>	<b>包茎手術をめぐる美容外科被害と判例</b>	180
1	包茎手術商法の実態	180
2	陰茎の美容外科手術の内容と合併症	187
3	判例	187
4	和解・示談	192
5	東京都消費者被害救済委員会の高額な包茎手術の契約に係る紛争案件の報告	192

### **第3章 歯科治療被害と裁判** 194

<b>I</b>	<b>営利的歯科治療被害の実態</b>	194
1	インプラント治療の被害実態	194

2	開業歯科医院における審美歯科医療の実態	197
3	審美歯科治療の被害	198
<b>II</b>	<b>審美歯科をめぐる被害</b>	199
1	審美歯科の治療内容と合併症	199
2	判例	203
<b>III</b>	<b>インプラント治療をめぐる被害</b>	213
1	インプラント治療の内容	213
2	インプラント治療の合併症	225
3	判例	228
<b>IV</b>	<b>補綴治療をめぐる被害</b>	252
1	補綴治療の内容	252
2	補綴治療の合併症	259
3	判例	260
<b>V</b>	<b>矯正歯科治療をめぐる被害</b>	297
1	矯正歯科治療の内容	297
2	矯正歯科治療の合併症	301
3	判例	302
<b>VI</b>	<b>歯科麻酔をめぐる事故</b>	314
1	概要	314
2	判例	314

## **第4章** 近視矯正手術被害と裁判 318

<b>I</b>	営利的近視矯正手術による被害の端緒——RK手術の集団被害の発生	318
<b>II</b>	<b>近視矯正（LASIK）手術被害の実態</b>	319
1	消費者庁・国民生活センターの公表資料	319
2	日本眼科学会の「屈折矯正手術合併症の実態調査報告」	322

3	「安心LASIKネットワーク」の記者会見	322
4	患者取り違え事故の報道	323
5	現在の近視矯正手術をめぐる状況	323
<b>III</b>	<b>近視矯正手術の内容</b>	324
1	近視矯正手術の概要	324
2	日本眼科学会の「屈折矯正手術ガイドライン（第6次答申）」	325
<b>IV</b>	<b>近視矯正手術の合併症とその原因</b>	327
1	近視矯正手術の合併症	327
2	屈折矯正手術のトラブル防止対策とケア	329
3	屈折矯正手術におけるトラブル防止の知見の進化	331
<b>V</b>	<b>判例</b>	334
1	LASIK手術をめぐる判例	334
2	PRK手術・RK手術をめぐる判例	349

## **第5章** 被害回復（救済）の手順 354

<b>I</b>	はじめに	354
<b>II</b>	<b>身体的被害への対応</b>	354
1	緊急受診の重要性	354
2	緊急受信先とその意義	356
<b>III</b>	<b>経済的被害への対応</b>	359
1	メディカルクレジットへの対応	359
2	メディカルファイナンスへの対応	362
3	支払済みの手術代金の返還や賠償金の支払いへ向けた交渉	363
<b>IV</b>	<b>後医への協力の要請</b>	363
<b>V</b>	<b>法律相談における要点</b>	364
<b>VI</b>	<b>損害賠償請求訴訟の流れと工夫</b>	364
1	損害賠償請求訴訟の流れ	364
2	起訴前の証拠保全の必要性	365

目次

3	美容外科被害における術前・術後写真・手術機器の確保の重要性	366	
4	歯科治療被害における「印象」や「歯形模型」の重要性	367	
5	近視矯正手術被害における角膜形状解析・波面収差解析の分析の必要性と重要性	367	
6	文献の活用	368	
資料① 医学用語解説			370
資料② 主要参考文献一覧			405
判例・和解年月日順索引			417
著者略歴			422